

Lacquering

漆工 関野晃平 (1943-2014) SEKINO Kohei  
小柳種園 (1944-) KOYANAGI Tanekuni

Metal working

金工 大須賀喬 (1901-1987) OSUGA Takashi  
井尾敏雄 (1908-1994) IO Toshio  
大須賀選 (1931-) OSUGA Sen  
井尾建二 (1945-) IO Kenji

Dyeing and Weaving

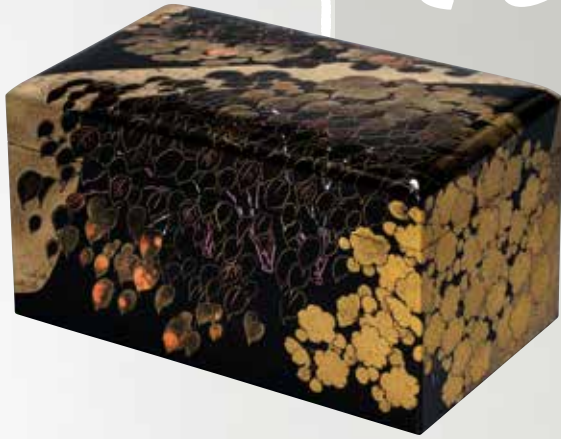
染織 柳悦孝 (1911-2003) YANAGI Yoshitaka  
山田貢 (1912-2002) YAMADA Mitsugi  
志村ふくみ (1924-) SHIMURA Fukumi  
柚木沙弥郎 (1922-) YUNOKI Samiro  
寺村祐子 (1937-) TERAMURA Yuko  
出口普子 (1939-) DEGUCHI Hiroko  
大槻圭子 (1943-) OTSUKI Keiko  
山縣百合子 (1944-2009) YAMAGATA Yuriko  
大澤美樹子 (1946-) OSAWA Mikiko

ミュージアム コレクションⅢ

受け継がれる

工芸の技と心

そして現代へ



MUSEUM COLLECTION III

PASSING DOWN AND RENEWING  
THE TECHNIQUES AND SPIRIT OF THE CRAFT

2019.12.7 土 - 2020.4.12 日

会場 | 世田谷美術館 2階展示室

開館時間 | 10:00-18:00(入場は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、

年末年始12月29日(日)~1月3日(金) ※1月13日(月・祝)は開館、翌1月14日(火)は休館。

2月24日(月・振替休日)は開館、翌2月25日(火)は休館。

観覧料 | 一般200(160)円、大高生150(120)円、65歳以上 / 中小生100(80)円

\* ( )内は20名以上の団体料金 \* 障害者の方は100(80)円、ただし、小・中・高・大学生の障害者は無料。

介助者(当該障害者1名につき1名)は無料 \* 小・中学生は土、日、祝・休日は無料

\* 同時開催の企画展チケットで本展をご覧いただけます。

左 小柳種園《時絵平瀬桜木図箱》2006年 右 柚木沙弥郎《格子》2009年 写真撮影:上野則宏

コーナー展示 能面師 入江美法の世界 IRIE Biho — the Art of Noh-masks

世田谷美術館  
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL.03-3415-6011(代表)  
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>  
観覧会のご案内 03-5777-8600(ハローダイヤル)

ミュージアム コレクションⅢ

## 受け継がれる工芸の技と心

### そして現代へ

長い年月を重ねて、人々の暮らしのなかで作られてきた工芸作品には、多くの先人たちの美意識や知恵と工夫が蓄積されています。

本展では、こうした先人たちの心や技を受け継ぎながら、現代の生活や美意識に呼応した新たな作品づくりに取り組む作家たちの作品を、当館の収蔵品を中心に、ご紹介します。

世田谷ゆかりの染色作家・山田貢は、江戸時代の《白麻地風景模様茶屋染帷子<sup>かたびら</sup>》(東京国立博物館所蔵)の復元に携わり、その経験が自身の制作にも活かされ、糸目友禅で重要無形文化財保持者に認定されました。

漆芸作家の小柳種圃<sup>ちゅうしゅ</sup>は、国宝の中尊寺金色堂復元修理に参加し平安時代の漆工芸に直に触れた経験が、現在の制作の基盤になっています。

大須賀喬と大須賀選、そして井尾敏雄と井尾建二はいずれも親子で金工に携わり、伝統を踏まえた技術で作品制作に取り組んできました。

染織作家の志村ふくみは、柳宗悦(1889-1961)らが提唱した民藝運動に関わり、木工芸の重要無形文化財保持者に認定された黒田辰秋(1904-1982)から工芸の根本姿勢を学び、草木染の紬織で重要無形文化財保持者に認定されました。染織を通じて自然との共生をテーマに執筆活動や後進への育成にも尽力し、2015年には、文化勲章を受章しました。

関野晃平も黒田辰秋を通じて漆芸の道に入った作家で、日本鮑<sup>あわび</sup>を用いた螺鈿や変わり塗の一種の白沃地の作品を制作しました。

民藝運動に関わり、型絵染の重要無形文化財保持者の芹沢銈介(1895-1984)を師として染色の道に入った柚木沙弥郎は、「民藝」という枠組みを越えて、より根源的で自由な創作活動へと向かい、97歳を超える今も意欲的な作品制作に取り組んでいます。柚木は柳宗悦の甥で染織作家の柳悦孝と共に、女子美術大学で長年多くの後進を指導し、その自由な精神は、寺村祐子、出口普子、大槻圭子、山縣百合子、大澤美樹子といった染織作家たちにも引き継がれています。

本展では、こうした先人たちが長い年月をかけて築いた蓄積を継承しながら、現代へと展開している作家たちの作品をご観覧いただければ幸いです。



志村ふくみ《阿礼》2016年



山田貢《点連線糸目友禅着物「若麦文」》1996年

写真撮影:全て上野則宏



関野晃平《構拭漆大手箱》1990年



井尾建二《銀製花螺透彫文手付長盤》1987年



柚木沙弥郎《びっくりマーク》2011年

#### 関連企画

講演会 1 日時:2020年2月9日(日)

「金工の伝統技法とその魅力」

講師:井尾建二

金工作家・日本工芸会正会員(金工部元会長)、  
武蔵野美術大学元講師、  
青山彫金工スクール主宰

講演会 2 日時:2020年4月5日(日)

「工芸作家の制作姿勢と表現」

講師:外館和子

多摩美術大学教授、工芸評論家、工芸史家

いずれも14:00~15:30

(開場13:30)

会場:当館講堂

定員:先着140名 入場無料

※手話通訳付

※当日12:00よりエントランス

ホールにて整理券を配布

#### コーナー展示

能面師 入江美法の世界  
IRIE Biho—the Art of Noh-masks

世田谷ゆかりの彫刻家で能面師として知られる入江美法(1896-1975)の能面や彫刻及び能に因んだゆかりの作品を紹介します。

入江美法《小面》制昨年不詳



#### 同時開催企画展

■ 奈良原一高のスペイン — 約束の旅  
2019年11月23日(土・祝)—2020年1月26日(日)

■ 村井正誠 あそびのアトリエ  
2020年2月8日(土)—4月5日(日)

#### 交通案内

- 東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(60台、無料):東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分。



世田谷美術館  
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL.03-3415-6011(代表)  
https://www.setagayaartmuseum.or.jp/  
展覧会のご案内 03-5777-8600(ハローダイヤル)